

令和5年度「宮城県インターンシップ」 仙台土木事務所における実習体験。



令和5年9月15日
仙台土木事務所

○実習概要

インターンシップとは、大学生等が在学中に研修的な就業体験を行うことで職業観の確立や勉学への動機付けの一層の充実を図るとともに、その成果を就職後に能力として発揮することで、実社会への適応能力の高い、実践的な人材の育成につなげることを目的としており、仙台土木事務所としても毎年、実習生の受入を行っています。

今年度は、技術系の大学生3名が参加し、各部の業務について講義を受け、各現場を見学、また、若手職員との意見交換を行っていただき、公務員としての役割や総合土木職としての業務を実感してもらいました。

○実習期間等

- ・開催日：令和5年9月11日（月）から9月15日（金）5日間
- ・場 所：仙台土木事務所3階小会議室及び管内各現場
- ・実習生：3名（東北工業大学工学部2名、北見工業大学工学部1名）
- ・カリキュラム：
 - （1日目）【講義】県民のための公務員、仙台土木事業概要など 【現場】川内沢ダム建設現場など
 - （2日目）【講義】河川、海岸関係事業など 【現場】宮蒲田海岸高潮対策事業、吉田川床上対策事業など
 - （3日目）【講義】道路関係事業、若手職員との意見交換 【現場】相馬巨理線復興道路など
 - （4日目）【講義】入札制度、行政許認可、建築行政、復興まちづくり 【現場】仙台塩釜港仙台港区
 - （5日目）【講義等】危機管理関係、成果とりまとめ、成果報告会



「川内沢ダム建設現場」



「相馬巨理線に隣接する震災遺構中浜小学校」



「成果報告会」

○実習を終えての感想

- ・私の持つ知識と現場研修で得た経験を結びつけることで、将来のイメージを掴むことが出来た。
- ・責任重大だが広く現場に関わり、多くの人と関わるができるやりがいのある仕事と感じ、河川だけでなく、他分野にもやりがいや楽しさを見いだせた。
- ・県庁職員の主な業務内容を知れたことはもちろんですが、たくさんの先輩職員の方々の思いや、実体験に基づいた話をお聞きし、県庁職員ならではの魅力ややりがいなども知ることが出来た。

○問い合わせ先

宮城県仙台土木事務所 道路部兼河川部 企画担当

TEL:022-297-4153

E-mail:sddb@pref.miyagi.lg.jp

HP : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/snd-doboku/>

